

3つの柱となる施策

▶事業の詳しい内容はこちら



1. 災害に強く、安心して暮らせるまちづくり

市民の命と暮らしを守るため、大雨災害からの着実な復旧を進めます。また、今後に備え、段階的浸水対策計画の策定など、災害に強いまちづくりに取り組みます。



▲大雨災害の復旧を継続

2. 次世代を育む教育環境の整備

子どもたちの学びの機会と教育環境を守ります。そのために、過大規模となっている学校への緩和策を始め、子どもたちが安心して学べる環境づくりに取り組みます。



▲宮司小学校(仮称)のイメージ

3. 人も企業も行政も「稼ぐ」まちづくり

ふるさと納税など、市が自ら調達できる財源の確保を進め、安定した市政運営につなげます。また、企業誘致や創業支援を進め、持続可能な地域経済の基盤を作ります。



▲起業支援のための貸事務所

次の世代へ誇れる福津市へ

令和8年度の市政運営の指針と予算

令和8年度の市政運営の指針や、主に取り組む3つの柱となる施策について紹介します。また、令和8年度予算の概要をお知らせします。

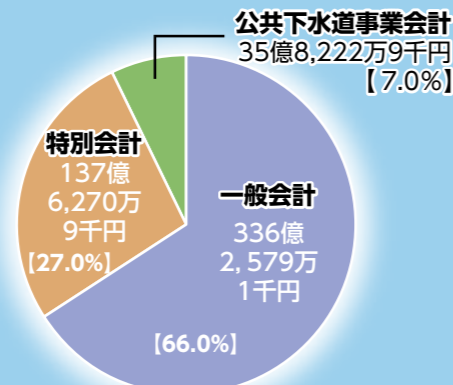


▶詳しくは市公式ホームページをご覧ください



令和8年度予算

令和8年度の一般会計の予算額は、336億2,579万1千円です。前年度と比較すると33億9,362万4千円(11.2%)の増加となりました。予算説明書などの資料は市公式ホームページや市役所本館2階の情報コーナーで公開しています。



一般会計
市民サービスの提供を始めとする行政運営の基本事業にかかる会計

特別会計
事業目的を限定し、特定の収入を特定の支出に充てて経理する会計

公共下水道事業会計
使用料などの収入で経費をまかない、下水道事業を経理する会計

区分	年度	令和8年度	令和7年度	増減率
一般会計		336億2,579万1千円	302億3,216万7千円	11.2%
特別会計	国民健康保険事業	61億9,791万6千円	63億2,203万円	△2.0%
	後期高齢者医療事業	15億6,581万2千円	14億3,010万3千円	9.5%
	介護保険事業	59億9,898万1千円	56億4,727万3千円	6.2%
公共下水道事業会計		35億8,222万9千円	33億2,808万7千円	7.6%
合計		509億7,072万9千円	469億5,966万円	8.5%

※公共下水道事業会計の額は収益的支出と資本的支出の合計額

令和8年度市政運営の指針

「福津市の未来を再設計」

福津市は大きな転換点に立っています。人口の増加によってまちは活気を増す一方で、昨夏の大規模な大雨災害の復旧や学校の過大規模化、老朽化した公共施設への対応など多くの行政需要に直面して、物価高騰なども相まって市の経営状況は厳しさを増しています。

特に基金の管理運用を巡る課題は、今後の行政需要への対応に影響を及ぼす懸念もあり、庁内に聴取委員会を設置して今回の事態を招いた原因や今後の健全な運用に向けた検討を行いました。今後は専門家の意見も踏まえ、適正な基金運用を進めていきます。

このような厳しい経営状況を踏まえ、経営感覚を持った行政運営および組織改革、健全な財政運営を進めるため、昨年12月に「臨時行財政運営方針」を策定しました。この方針は、選択と集中による持続可能な市政運営に取り組む姿勢を示すものです。令和8年度は、特に緊急性を要

し、重要性の高い3つの柱となる施策に重点的に取り組みます。同時に、福祉や生活に密接に関わる市民サービスは確保しながら、その他の分野においては事業の優先順位を考慮し取り組みを進めます。市民の皆さんが安心して生活していけるよう最大限努めていきます。

その結果、私がこれまで市民の皆さんに示してきた公約の一部については、2年間一時的に実施を見送らざるを得ないとの判断に至りました。

この厳しい状況を乗り越えていくことは、市の新しい未来を切り拓く力へと変えていける好機でもあると捉え、次の世代に誇れる福津市を引き継ぐため、覚悟をもって市政運営に取り組んでいきます。

福津市長 福井崇郎



▲基金の管理運用を巡る課題と対応



▲臨時行財政運営方針